

# HAPHAZARD REMARKS

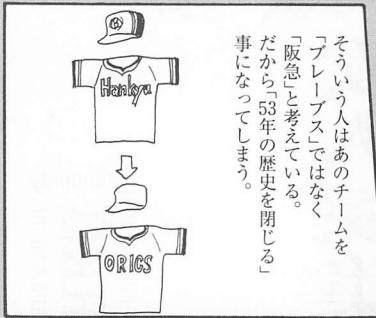
FROM KYOTO JAPAN

## CLUB FAME COMICS-VOL.6

### ■ PROFILE ■

**KAZUYOSHI HARADA 原田知佳** (コラムニスト・1963年生まれ)

無表情を身上とする氏の笑顔は百万\$に値する。漫画を表現の手段として用いたこの連載は非常に人気が高い。しかし、氏は自分自身の像をきちんと理解しているのだろうか。また、その視点が妙に京都人的なところを大事にしてもらいたい。絶妙な男である。



そういう人はあのチームを「ブレイブス」ではなく「阪急」と考えている。だから「53年の歴史を閉じる」事になってしまう。



しかし僕は思うのだけど、フランチャイズを移転するホークスは別として、ブレイブスの身売りに過度にセンシメンタルになるのは間違っている。

大阪球場のせまいイスで3時間を過ごすのは、拷問と云って良い。



何故なら僕は南海ホークスと阪急ブレイブスのファンだ。

今年の秋は怒りと悲しみの秋であった。

原田知佳



YUTAKA FUKUMOTO

つまり、親会社の宣伝媒体としてしか扱われていない事が日本のプロ野球の最大の不幸なのだ。多くのファン、マスコミ、そして選手までも同じ思考・感覚を持っているのだ。あの福本も「これまで何の為にやってきたんや」と言った。彼も自分のチームを「ブレイブス」ではなく「阪急」と考えているのだ。



DAVE JOHNSON (MANAGER OF N.Y. METS)

ニューヨークメッツのオーナーは数年前から出版社のダブルデイ商会だがメッツはメッツであり、身売りで「球団の歴史を閉じた」事には決してならない。



あゝ運命の川崎球場、ロッテ・近鉄WヘッダーをTVで観ていると

そして10月19日



友人のホークスファンなどは本気で怒っていた。

「オ、と死んだんは、許せん無視や」



このチームもあった。

ああ、忘れてた。



一見華やかなプロ野球が企業の道具にすぎない事を改めて思い知らされた秋だった。近鉄も最後の最後の最後で優勝できなかったしね。

関西のファンには災厄と言っているシーズンだった。



今日午後6時より阪急球団から球団譲渡について発表があります。



そこで僕は9月18日に大阪球場へ西武戦を観に行った。ゲームは負けたが、門田のバックスクリーン右への39号を見る事ができた。